

令和2年度

「ふれあい地域懇談会」に係る議題について

< 大船地域 >

内容	
地域の懸案事項に関する報告	① 岩瀬子ども会館の今後について
本年度の地域の議題に関する回答	① 北鎌倉裏トンネルの今後の計画について ② ごみ処理施策の変更について ③ JR引込線の今後の活用方法について ④ 大船地区の損傷道路の整備対応、道路対策について ⑤ 小袋谷歩道橋の今後の建設計画について ⑥ がけ地対策、樹木の伐採管理について ⑦ 大船商店街の活動について、市の指導を受けたい (解散後の活動について)

地域の懸案事項に関する報告

大船-R2-1	岩瀬子ども会館の今後について
---------	----------------

令和2年度ふれあい地域懇談会（第2部） 進捗状況報告書

番 号	大船-R2-1
テ ー マ	岩瀬子ども会館の今後について
概 要	
担 当 部 課	こどもみらい部 青少年課

議題に対する回答等

閉館後の岩瀬子ども会館の活用については、市関連団体の事務所として活用しながら、乳幼児親子が利用できるスペースを提供していくことを検討しています。

また、関連団体の活用前までの間については、旧西鎌倉子ども会館と同様に、既存の利用団体等による運営について、意向確認をしている状況です。

添付資料

本年度の地域の議題に関する回答

大船-R2-1	北鎌倉裏トンネルの今後の計画について
大船-R2-2	ごみ処理施策の変更について
大船-R2-3	J R引込線の今後の活用方法について
大船-R2-4	大船地区の損傷道路の整備対応、道路対策について
大船-R2-5	小袋谷歩道橋の今後の建設計画について
大船-R2-6	がけ地対策、樹木の伐採管理について
大船-R2-7	大船商店街の活動について、市の指導を受けたい (解散後の活動について)

令和2年度ふれあい地域懇談会 第3部 回答票

番 号	大船-R2-1
テーマ	北鎌倉裏トンネルの今後の計画について
内容詳細	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の進捗状況について 昨年8月に役員会で説明いただいた後の状況について、お聞きしたい。 ・大船駅側に改札口の設置を希望 高野台自治会世帯数約400の住民、大船高校の約1200名の学生の利便性向上及び北鎌倉女子学園の学生の登下校の安全確保のため、改札口の設置を希望するがいかがか。
担当部課	都市整備部 道路課 共創計画部 交通政策課

議題に対する回答等

北鎌倉隧道の安全対策については、令和元年度（2019年度）に市民を対象とした説明会を2回開催し、また地元町内会主催の説明会にて安全対策工法の基本設計3案について説明を行いました。その後、「関係地権者等意見交換会」の開催に向け関係地権者の方々と個別で調整をしてきましたが、その中で「第1回の意見交換会で課題となった車両の通行について整理をしないと意見交換会を開催する意味がないのでは。」との御意見をいただいたことから、意見交換会に先立ち、現在調整を行っています。

また、隧道鎌倉側の私有地についても、市が道路として一元管理するために用地を利用したい旨正式に依頼いたしました。

今後、調整が付き次第、意見交換会を開催し、安全対策工法の絞り込みに向けて取り組んでまいります。（道路課）

JR北鎌倉駅における大船側改札口の設置については、JR東日本との意見交換の中で、「北鎌倉駅のような規模の駅で3箇所の改札口は考えられない。新たな改

札口を設置するとなると駅員の常時配置や人だまりスペースの確保などの課題がある。」との見解が示されている状況です。

改札口の利用状況を踏まえ、機会を捉えて、引き続き要請を行っていきたいと考えています。（交通政策課）

添付資料

令和2年度ふれあい地域懇談会 第3部 回答票

番 号	大船-R2-2
テーマ	ごみ処理施策の変更について
内容詳細	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年11月に役員会で説明していただいたが、今後のあり方についてお聞きしたい。 ・今泉クリーンセンターについて 生ごみ資源化施設の候補地となっているが、今泉地区(岩瀬・今泉・今泉台町内会)は、白紙撤回を求めたい。 現在中間貯蔵施設として使用されているが、臭気、虫の発生などの問題もある。施設の気密性、清潔性等の整備が必要。周辺地域への影響を考慮した対策を取ってほしいがいかがか。
担当部課	環境部 環境施設課

議題に対する回答等

【今後のごみ処理のあり方について】

昨年3月に公表した「将来のごみ処理体制についての方針」では、焼却施設を建設する場合と建設しない場合について、環境面、費用面、安定性の観点から評価した結果、今後、焼却施設を建設せずに更なる資源化を進めることとし、現在、年間約3万トン(家庭系2万トン、事業系1万トン)ある燃やすごみを、令和11年度(2029年度)には約1万トンまで削減可能であると試算しています。

ごみの減量・資源化施策の方針は以下の通りです。

- ・家庭系の燃やすごみの約50パーセントを占める生ごみについては、好気性発酵の微生物により9割減容し、残りはたい肥として利用する方式とし、市内に施設整備を図る
- ・燃やすごみに含まれているプラスチック・紙類等の分別の徹底
- ・事業系の生ごみについては、民間の食品リサイクル施設への誘導
- ・その他の事業系燃やすごみの全量資源化処理
- ・家庭系及び事業系の紙おむつの資源化
- ・焼却については、逗子市及び葉山町との広域連携により、逗子市の現焼却施設で焼却可能な量を焼却し、これを超える部分は民間施設等で処理する

方針の実現に向けた現在の取組状況につきましては、①生ごみ減容・資源化施設の建設に向けた地域住民との協議、②事業系生ごみの民間食品リサイクル施設への誘導策の検討、③逗子市及び葉山町とのごみ処理広域化を進めるための実施計画の策定、④名越クリーンセンター焼却停止後の中継施設の整備に向けた地域住民との協議を中心に進めております。

①につきましては、これまでも地元3町内会と組織する今泉クリーンセンター連絡協議会や地元住民の皆様にご説明していますが、今後も施設づくりの具体的な内容や臭気対策、地元要望を踏まえた周辺のまちづくりについて説明し、ご意見を伺いながら、地元の皆様の理解を得て地域に貢献できる施設づくりをしてまいりたいと考えています。

②につきましては、市職員による事業者訪問の際に食品リサイクル施設への処理を促し、当該施設で処理を行う事業者が出てきています。今後、民間施設での安定的な処理が図れるよう処理先の確保や、処理原価よりも安価に抑えている処理手数料の見直しについても進める予定です。

③につきましては、令和元年(2019年)11月に「鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画(素案)」を公表し、本市の燃やすごみは令和6年度(2024年度)に予定している名越クリーンセンター稼働停止後は、逗子市焼却施設で焼却する予定としており、令和2年(2020年)1月に実施計画(素案)のパブリックコメントを実施し、公表したところです。今後、できるだけ早期に実施計画の策定を進めてまいります。

④につきましては、これまで名越クリーンセンター周辺の自治会町内会にご説明しておりますが、今後、施設づくりについて、より具体的内容や周辺環境への配慮など説明し、御意見を伺いながら、地元の皆様の理解を得て地域に貢献できる施設づくりをしてまいります。

その他、レジ袋の減量・削減の周知・啓発、内容物調査制度等による不適切排出者への分別指導、LINE等の活用による若者世代への周知・啓発、紙おむつの資源化手法の検討等も順次進めております。

【今泉クリーンセンターについて】

長年にわたり、今泉クリーンセンターの運営に御理解と御協力をいただきありがとうございます。

今泉クリーンセンターを生ごみ資源化施設の候補地としたことについては、現在、ごみ処理施設や下水道施設は市内5地域それぞれに配置しておりますが、一定規模以上の面積を要し、鎌倉市の土地事情から市内に適地が少ないため、施設の建替や新たな施設の建設にあたり、各地域には引き続きごみ処理施設として担っていただきますようお願いをしている中で、大船地域についても、引き続きごみ処理施設を担っていただきたいと考え、今泉クリーンセンター跡地を生ごみ資源化施設の候補地としているものです。

また、鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画(素案)の中で今泉クリーンセンター跡地を生ごみ資源化施設の候補地としたことについては、あくまでも

候補地であることから、その旨を明確に表示して、確定している他の施設とは異なった表現をしております。

臭気や虫の問題については、焼却停止後の平成 27 年度(2015 年度)は、虫や臭いが発生していましたが、現在は安定的な名越クリーンセンターへの搬送体制を確立させ、ピットに大量にごみを溜める状況が生じないように配慮しており、施設由来の虫の大量発生はありません。

現施設の臭気への対策は、脱臭設備(活性炭脱臭方式)の活性炭を毎年 1 回交換し、脱臭設備の保守を行い、性能回復を図るとともに、臭気指数測定を敷地境界線及び脱臭設備出口で実施し、悪臭防止法の基準内であることを確認しています。その他にも、ごみピット、搬送車両への積み込み口及び荷箱のシートに、消臭剤を噴霧しているところです。

また、今年度より脱臭設備の活性炭の交換頻度を年 1 回から 2 回に増やし、自区内搬送車についても、臭気対策を強化するため、密閉度の高い車に順次交換する取組を始めています。

臭気対策につきましては、これまでも様々な工夫をしてきましたが、今後更に強化し、万全なものとしていきます。

今後、生ごみ減容・資源化施設については、地元住民の皆様には十分説明を尽くすとともに、皆様の御意見を伺いながら、地域に貢献できる施設づくりをしてまいりますので、御理解を賜りますようお願いいたします。

令和2年度ふれあい地域懇談会 第3部 回答票

番 号	大船－R 2－3
テーマ	J R引込線の今後の活用方法について
内容詳細	昨年10月の役員会で説明いただいた計画について、進捗状況及び今後の計画をお聞きしたい。
担当部課	行政経営部 公的不動産活用課 まちづくり計画部 深沢地域整備課 都市整備部 道路課

議題に対する回答等	
<p>J R引込線の活用につきましては、地域課題の解決に向け、現在、山崎跨線橋南交差点の目違いの解消、三菱電機株式会社鎌倉製作所（以下「三菱電機」という。）の東側に位置する道路の拡幅及び南側に位置する県道腰越大船線までの道路の整備（以下「三菱電機周辺道路」という。）等の検討を進めています。</p> <p>山崎跨線橋南交差点の目違いの解消につきましては、神奈川県と協議を進めており、今後、神奈川県が工事に向けた設計等を行う予定です。</p> <p>三菱電機周辺道路につきましては、令和元年度（2019年度）に道路概略設計業務を行い、この結果を基に、三菱電機と用地の交換等に関する協議を進めているところです。</p> <p>なお、部分的に残された用地につきましても、引き続き活用に向けた検討を進めてまいります。</p>	
添付資料	

令和2年度ふれあい地域懇談会 第3部 回答票

番 号	大船-R2-4
テーマ	大船地区の損傷道路の整備対応、道路対策について
内容詳細	<ul style="list-style-type: none"> ・岩瀬隧道、宮の前隧道2車線化について、その後の計画、対応状況をお聞きしたい。 ・町内会で道路状況を調査し、補修を希望しても、幹線道路は補修されても、一般道路の補修はなかなか進まない。高齢者が多い町内では、躓いて怪我をしやすい。早急な対応を希望するがいかがか。 ・湘南モノレール富士見町駅から旧自動車学校方面の暗渠上の道路は、暗渠の両側が窪んでいるため水たまりができるので、対応をお願いしたい。 ・台交番沿いの引込線の踏切があった場所の歩道が狭い。保育園児の散歩コースでもある。春から夏は雑草がはみ出して危険になる。立入禁止の柵を移動して歩きやすくしてほしいがいかがか。
担当部課	都市整備部 道路課 作業センター 行政経営部 公的不動産活用課 まちづくり計画部 市街地整備課

議題に対する回答等

①岩瀬隧道、宮の前隧道2車線化については、断面図等を作成し切り通しによる影響を検討したところ、高低差約40メートルの多段擁壁の建設が必要となり、緑地が広範囲にわたり失われ、環境へ影響を及ぼすことを確認しました。

また、その掘削で生じる土砂の搬出量は約12万立方メートルとなり、現道による搬出では4トントラックの往来が片道約5万4千台にも及び、残土処分費は約15億円と多額の費用が必要となります。さらに、切り通しでは用地取得や岩瀬ボタン公園の用地活用の代替地が必要となる等、多くの課題を確認できたことから、早期の整備は困難と考えております。(道路課)

②老朽化した道路については、鎌倉市道路舗装修繕計画に基づき計画的に修繕を実施しております。

また、同計画に位置付けていない道路については、住民要望等を受け、緊急性等に考慮しながら適宜修繕を実施しています。（道路課）

③湘南モノレール富士見町駅から旧自動車学校方向の暗渠上の道路については、6月に作業センターにおいて、補修を実施いたしました。（道路課・作業センター）

④J R引込線跡地の活用につきましては、地域課題の解決も含めた、全体の利活用の検討を進めていきたいと考えています。

当該地につきましては、現時点で、具体的な活用方針はなく、今後、歩行者の安全確保を踏まえた取組を考えてまいります。（公的不動産活用課・市街地整備課）

令和2年度ふれあい地域懇談会 第3部 回答票

番 号	大船-R2-5
テーマ	小袋谷歩道橋の今後の建設計画について
内容詳細	仮補強工事の後、本工事はいつごろから始めるのか。工事日程が決まるまでの間、落下物防止のネットを張らなくて大丈夫なのか。
担当部課	都市整備部 道路課

議題に対する回答等	
<p>小袋谷歩道橋は、平成29年(2017年)8月10日に鉄道事業者であるJR東日本から鋼材の落下物が鉄道敷地内で発見されたとの連絡を受け、平成29年度(2017年)に応急対策工事、平成30年度(2018年)に点検調査を実施し、現在、JR東日本株式会社横浜支社と修繕工事に向けた協議・調整を行っているところです。令和2年度(2020年度)中に調整等を完了し、令和3年度(2021年度)以降に修繕工事を行ってまいります。</p> <p>なお、落下物防止のネットについては、平成29年度(2017年度)にJR東日本と協議した結果、ネットを張らずに、落下する恐れのある腐食部分をたたき落とすこととなり、作業を実施しました。</p>	
添付資料	

令和2年度ふれあい地域懇談会 第3部 回答票

番 号	大船-R2-6
テーマ	がけ地対策、樹木の伐採管理について
内容詳細	<ul style="list-style-type: none"> ・今泉二丁目、今泉公園～今泉台一丁目の六国見山下の道路は、南斜面の急斜面に木々が生え、大雨等にがけ崩れが発生しやすいと思うが、対処案を持っているのか。 ・今泉台には、急斜面のがけ地が多く道路や民家に面した大木がある。昨年の台風15号では、七丁目のがけから大木が倒れ、電線を切断、復旧に長時間かかり、停電被害が大きかった。市有地だけではなく、民有地も多く手入れが行き届かず、気が気でないところが多い。特に民有地の危険木の伐採を進める政策の検討を希望するがいかがか。 ・今泉台二丁目11番地から今泉（白山神社）、さわやかセンターに抜ける小道は、急斜面の倒木等で現在も通行止めである。早急な復旧を希望するがいかがか。
担当部課	都市整備部 公園課 道路課 防災安全部 総合防災課

議題に対する回答等

【緑地の維持管理について】

平成30年度（2018年度）に策定した鎌倉市緑地維持管理計画（以下「計画」という。）に基づき、市が管理する緑地について、安全性の確保及びライフサイクルコストの縮減の観点から、予防保全型管理による長寿命化対策を含めた計画的・効率的な管理を図るため、予防保全型管理への転換と防災対策の視点による計画的な緑地の維持管理に取り組んでいます。

本計画の策定にあたっては、リスク評価による維持管理の優先順位の高い緑地を優先的に維持管理を行う緑地とし、重要度の高い61の緑地を対象に調査を実施して取り組みスケジュールを策定していますが、御指摘の斜面である（仮称）今泉台8号緑地は61の緑地には含まれていません。

なお、当該緑地の維持管理については、斜面を保護する上から急激な樹木の伐採等は控えており、また、樹木の剪定は強風の影響を軽減するために有効であること

から、道路等に面して大きく生長した樹木を対象に部分的に剪定等が必要な際は、適宜現地を確認し対応を図ることとしております。(公園課)

【がけ地対策について】

民有地のがけ面に生えている樹木については、強風や大雨等で揺すられることにより、がけ崩れや落石等の土砂災害を誘発する危険性を秘めています。

樹木の伐採等の日常管理を怠り土砂災害を発生させてしまい第三者に被害を与えてしまった場合には、民有地の所有者が被害者に対して賠償責任を負うこととなります。

そのような結果を招かないために、鎌倉市では、民有がけ地の所有者に対し民有地の適正管理を呼びかけると共に、伐採工事費用・防災工事費用の助成を行う「鎌倉市既成宅地等防災工事資金助成事業」を実施しています。

今後も、がけ面の適正管理を呼びかけると共に、助成事業を適正に実施していきます。(総合防災課)

【今泉二丁目 11 番地先から白山神社方面に抜ける小道】

令和元年(2019年)の台風第15号の影響により生じた土砂崩れや倒木により安全を確保できないため、現在通行禁止としています。

令和2年度(2020年度)は、現況の調査設計を予定し、仮設通路の御要望をいただいていることから、調査設計において併せて検討してまいります。(道路課)

令和2年度ふれあい地域懇談会 第3部 回答票

番 号	大船-R2-7
テーマ	大船商店街の活動について、市の指導を受けたい (解散後の活動について)
内容詳細	大船駅前町内会は、平成27年3月に解散となり、大船駅前商店街も今年なくなっている。今まで商店街が管理していた街路灯などはどうなるのか。また、居住している人は、どこにも属さないことになり、情報が入らなくなる、市の指導を受けたいがどうすればよいか、教えてほしい。
担当部課	市民生活部 地域のつながり課 商工課

議題に対する回答等	
<p>大船駅前商店会は、令和2年（2020年）3月31日をもって解散しましたが、大船駅前商店会が所有する街路灯等の維持管理については、引き続き、大船仲通商店会が行う旨、商店街連合会事務局を通じて確認をしています。（商工課）</p> <p>自治会町内会が解散等により、住民の方が所属する自治会町内会がなくなった場合には、隣接する自治会町内会に編入する事例などもあることから、周辺自治会町内会と協議していくことも一つの方法として考えられます。</p> <p>また、住民の方がどのようなご要望をお持ちかなど、現在の状況をお聞きしながら、今後の対応についてご一緒に考えていきたいと思っております。（地域のつながり課）</p>	
添付資料	